

福井市自立支援協議会 課題提起シート

課題提起者名（所属）委託ミーティング

課 題	※「～が必要である。」という書き方にしてください。 多機関連携が、早期にスムーズに出来るように、相互のスキルアップ、意識作りが必要である。
概 要 及 び 現 状	【概要】（複数事例あり） 地域包括支援センター及び精神科病院医療連携室より介入依頼あり。支援対象者の家族に障がいがあり、日常生活において支援が必要で、判断能力の低下がみられる人がいた。関係機関で支援会議を実施し、支援方針・役割分担について協議している。 【現状】 共通点 ①当事者がSOSを発出することが困難である。 ②家族にも支援が必要だが、気づきが遅れる。 ③既存の支援機関から他機関への連携の動きが遅れている。
改 善 の 方 針	包括支援体制を周知していく。 基幹相談支援センターと地域包括支援センターで日常的に連携を図っていく。
具 体 的 な 取 組 内 容	【取組内容】 ・地区委託相談と地域包括支援センターとの連携体制の強化に向けた協議を行う。基幹相談支援センターが協議の場を調整する。 ・基幹相談支援センター・地区委託相談と地域包括支援センターの合同研修を企画し、関係機関のネットワーク作りを行う。合同研修で事例検討などを実施し、各機関のスキルアップを図る。 【理由】 ・R7度、基幹相談支援センターから各地域包括支援センターに対し、市内障がい福祉サービス事業所の情報提供を行った。障がい福祉サービス・介護サービスの特徴や取り扱いについては、研修等の場が必要である。
期 待 さ れ る 効 果	【効果】 ・なんせい・なんとう地区（地区委託相談）とほやねっと南・社・明倫3地区（地域包括支援センター）との連携により、合同事例検討会や地域内福祉事業所をまき込んだ災害研修が実施されるようになり、つながりも徐々に強化されてきている。これを他の地区にも広げることができれば、市内全域に発展することができる。 ・地域包括支援センターだけでなく、他の分野とも連携体制を図る足がかりとすることができる。